

料金受取人払郵便

渋谷支店
承認

1581

差出有効期間
平成21年12月
31日迄

郵便はがき

1508790

200

受取人

渋谷区渋谷3-25-18
渋谷ガーデンフロント10F
株式会社Jストリーム

株主アンケート係 行



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会：毎年3月31日
期末配当金：毎年3月31日
中間配当金：毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417
[インターネット] <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/homepageurl>

【特別口座について】
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
当社ホームページURL <http://www.stream.co.jp/>
上場証券取引所 東京証券取引所 マザーズ市場



代表取締役会長兼社長
白石 清

「もっと素敵な伝え方を。」を コーポレートメッセージとし、 インターネット上のあらゆる コミュニケーションをダイナミックに するべく邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当社の経営に一方ならぬご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。このたび当社「第12期報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。
第12期は、世界的に景況の悪化が進んだ期となりました。上半期において原油高に伴う各種素材価格の高騰があったところに、米国のサブプライムローン問題に端を発した国際金融の混乱が発生し、实体经济にも大きく影響を及ぼしました。製造業では生産調整や設備投資の抑制が行われ、その他の業界においても、人件費や広告宣伝費の抑制が進んでおります。インターネット業界においては、市場の裾野は着実に拡大しているものの、景況の悪化に起因する企業の広告宣伝、販売促進活動などの抑制の影響が顕在化し、個人消費の手控えも影響が現れている状況です。

こうした環境下ではありますが、当社グループは、他社の展開する有力なサービスとの提携やグループ経営の強化を通じて業容の拡大を図ってまいりました。強力な動画配信プラットフォームを提供するブライトコープ社の日本法人への参画や、市場の伸びが期待されるモバイル領域での制作能力強化のために株式会社アップアローズを子会社としたことなどはそうした動きの一環です。こうした活動により、販売商品、制作能力の増強を実現できましたが、市場の拡大を見込んだ人員、設備の増強が、特に景況の悪化した下半期においては過剰となり、第12期の連結売上高は4,639百万円（前年同期比7.1%増）、連結経常利益197百万円（前年同期比50.9%減）、連結当期純利益は5百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

当面は厳しい経営環境が予想される状況ではございますが、第13期におきましては、当社グループの提供してきた価値の中心であります配信関連サービスを、品質・価格面で更に強化し、また「もっと素敵な伝え方を。」を体現するウェブ上の新しい表現方法を開発して、取引顧客数を増加させ、景況の回復をしっかりと捉えられる体制を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご理解とご厚情、そして一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成21年6月

<全般の状況>

インターネット業界においては、家庭での利用の基盤となる光ファイバーを利用したブロードバンド接続契約数が順調に増加し、市場の裾野は着実に拡大しているものの、世界的な景況の悪化に起因する企業の広告宣伝、販売促進などの抑制の影響が顕在化しつつあります。
このような状況のもと、当社グループは、映像や音声コンテンツを通じてインターネットや携帯電話ネットワーク上のコミュニケーションをよりダイナミックなものにしていくため、これまでに確立した配信インフラとノウハウ、豊かな表現技術を組み込んだストリーミング関連制作能力などを最大限に活用して事業を展開してまいりました。平成20年9月には株式会社アッカ・ネットワークスの事業のうち、企業向けにコンテンツ配信のプラットフォームを提供する映像コミュニケーション事業の一部を譲受し、顧客層の拡大を図りました。また、コンテンツ配信の増加に対応する映像配信ソリューション提供のため、株式会社電通、株式会社サイバー・コミュニケーションズ、トランス・コスモス株式会社と共同で、動画配信プラットフォーム提供サービスを行う新会社、ブライトコープ株式会社の設立に参画いたしました。自社サイトでの動画配信サービスを行うメディア事業者、コンテンツ事業者、企業マーケティング担当部門を主なターゲットとして営業展開いたしました。

携帯電話関連領域では、携帯電話向けウェブサイトの構築に実績とノウハウを有する株式会社インデックスネクスを株式会社インデックスから買収、連結子会社といたしました。同社は新社名株式会社アップアローズとして当社グループとしての活動を開始しており、携帯電話向けビジネスにおける制作能力の増強に寄与しております。

こうした活動により、販売商品、制作能力の増強を実現できたものの、販売面では、厳しい事業環境の中、既存顧客の当社が関わる各種活動自体の取りやめに伴う失注や、値下げ要求の強化が見られました。また新規顧客獲得の不振により、売上高は前年を下回る水準で推移いたしました。市場の拡大を見込んだ人員、設備の増強と、特に下半期の受注状況にミスマッチが生じた結果、収益面についても前年を下回る水準となりました。

また、当社の保有する株式のうち、業績の低迷に伴い時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、減損処理による投資有価証券評価損を71百万円計上いたしました。その他、特許実施再許諾の権利取得に伴う長期前払費用についての減損損失の発生等に伴い、特別損失を125百万円計上いたしました。

<事業別の状況>

(配信事業)
配信事業においては、当社が各インターネットプロバイダーなどに設置しております配信インフラを用いて、インターネット上のライブ・オンデマンド配信や携帯電話の音声、映像の配信などを行ってまいりました。

ビジネス関連では、企業のウェブサイトで行われるプロモーション、各種情報発信用途の配信案件受注が、景況の急速な悪化に伴い、特に第4四半期連結会計期間において低調となりました。エンターテインメント系の領域では、8月に開催された北京オリンピックのインターネットオンデマンド配信を実施いたしました。大規模配信を行うコンテンツプロバイダーを中心に値下げ圧力が強まりました。

モバイル関連では、「着うた®」配信の他、企業の携帯電話向けサイトや商品関連の特別サイト向けの配信を実施いたしました。また、iチャンネル向けASPサービスは安定した売上となりました。これらの結果、当事業の売上高は2,658百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

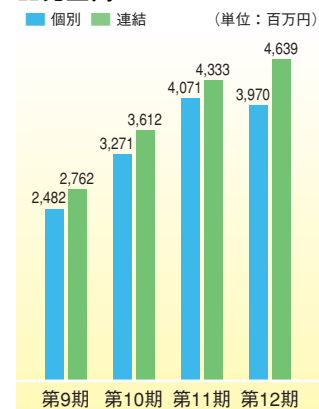
(制作事業)
制作事業においては、企業の映像を利用したウェブサイトやサイトに掲載する映像の制作及びこれに関連するサイトの更新運用などを行ってまいりました。

当連結会計年度においては、企業のプロモーションなどを目的としたウェブサイト制作の中でも、大口の案件の比率が低く、受注が例年対比不振となりました。新規顧客開拓の遅れもありましたが、制作を主な事業とする株式会社アップアローズを子会社化したことから、当事業の売上高は1,069百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

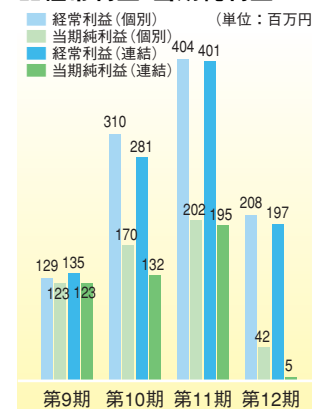
(その他の事業)
その他の事業においては、配信サービス提供時に付随的に発生するサーバーの運用監視や機器の販売、コンテンツ配信に使用されるシステム開発、インタラクティブなウェブサイト運用システムの開発などの受注を得ることができました。また、携帯電話を利用したスポーツサポートサービスの機能拡張に関連した大口の開発業務の受注を得ることができ、当事業の売上高は912百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

以上の結果、当期の業績は、連結売上高4,639百万円（前年同期比7.1%増）、連結経常利益197百万円（前年同期比50.9%減）、連結当期純利益5百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

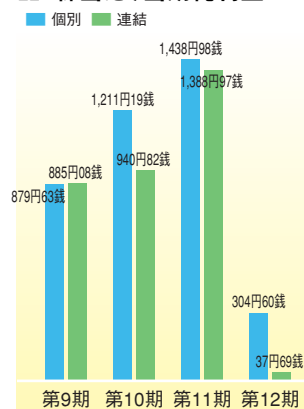
■売上高



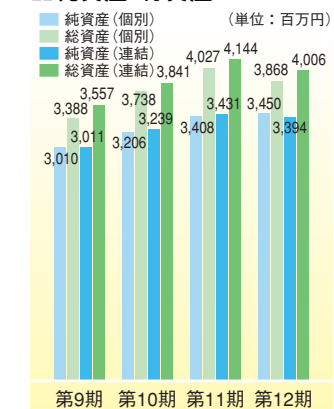
■経常利益・当期純利益



■1株当たり当期純利益



■純資産・総資産



Brightcove(ブライトコーブ)配信プラットフォームの提供を開始

米国、欧州におけるインターネット動画配信プラットフォーム提供サービス市場において、大きなマーケットシェアを有する Brightcove Platform サービスと、Jストリームの動画事業におけるノウハウ、配信インフラを掛け合わせて、日本市場で展開を開始しました。

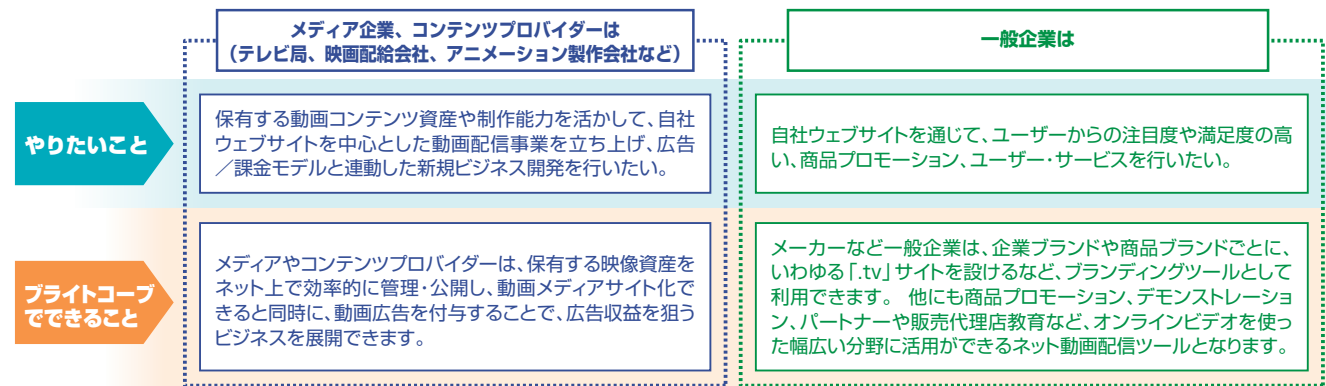
Brightcoveは、米国Brightcove社が開発したサービスです。テレビ放送局、映画会社、音楽レーベル、新聞社、雑誌社といったメディア企業から、自動車、IT、食品、不動産といった一般企業まで、様々な産業の大手企業で導入実績があります。



米国Brightcove, Inc.の日本法人、ブライトコーブ株式会社の設立(ジョイントベンチャー)に、Brightcove, Inc.、株式会社電通、株式会社サイバー・コミュニケーションズ(cci)、トランス・コスモス株式会社と共に参画しました。

動画をビジネスに活用するにあたって必要になる機能を全てもっており、初期開発投資コストと期間をかけずに容易に本格的な動画事業をスタートすることができます。

- 動画コンテンツツールの管理・マネージメント機能
- 動画サイト(ビデオプレイヤー)インターフェイスの作成機能
- 動画コンテンツ配信機能
- 広告連携機能 など・・・



Brightcove(ブライトコーブ)を使えば、動画サイト構築のためのアプリケーション開発や配信サーバー構築などを必要とせずに、時間とコストを大幅に節約して、動画サイトを立ち上げることができます。

顧客企業は低価格、短期間で動画を利用したサイトを展開でき、Jストリームとしてはサイト構築(制作売上)に加え、そのサイトで配信される動画の配信売上が期待できます。

市場環境概観

引き続き伸びるモバイル市場

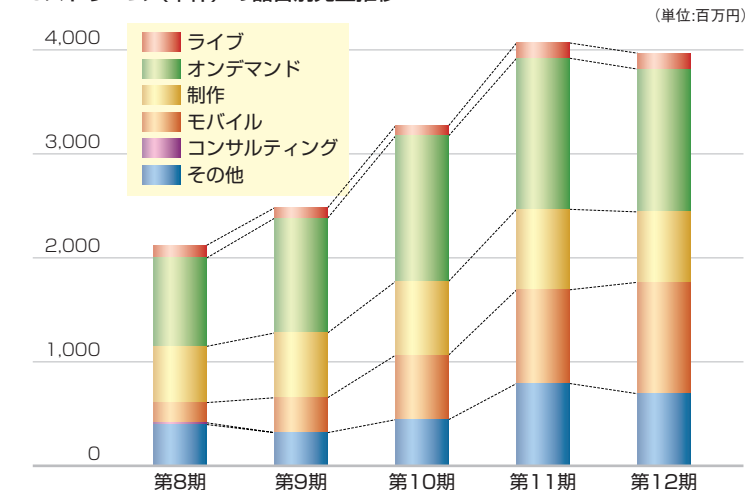
昨年の報告書でもご説明しておりますが、携帯電話(モバイル)関連の市場はPC関連市場を上回るペースで拡大しており、Jストリームの売上の中においても、携帯電話関連の売上が占める割合は年々拡大しております。

JストリームはPC向けの配信・制作を中心に事業展開をしてきたためモバイル領域の制作については外注する比率が高くなっておりましたが、今般アップアローズ社をグループに迎えたことによりグループ内部で完結する制作体制を確立できました。

株式会社アップアローズについて

モバイルサービスの企画から開発・保守・運用までをワンストップでコンサルティング(サービス設計及びサイト設計)からユーザーインターフェースのデザイン、システム開発、運用まで事業として展開しています。

Jストリーム(単体)の品目別売上推移



景況悪化のインターネット業界への影響は?

2008年における日本の広告費は、5年ぶりに前年対比減少となりました。世界的な金融危機、円高に伴う景気後退が主な要因とされています。

テレビに代表されるマス媒体の広告費が減少する一方、インターネット(PC、モバイルを含む)を利用した広告費は、

- **広告媒体費(サイト上の広告掲載費)**
- **広告制作費(販促用企業サイト、バナー等の制作費)**

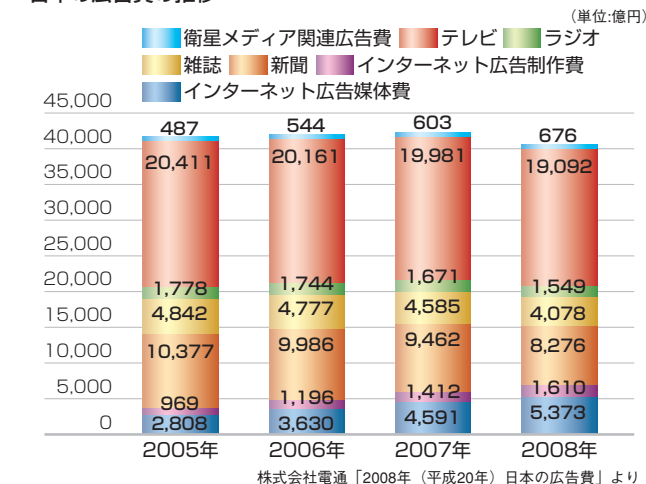
ともに着実に増加しています。

統計に現れてこないものとして、

- 単価の下落が起きていると考えられる(当社にとっては利益率の低下に結びつきます)
- 2008年の景況を受けた、2009年度における企業予算の絞り込みの影響はまだ定かでない

などの事情はありますが、マス媒体に比べて、効果測定がしやすいなどの利点がインターネット広告にはあり、景況が悪い故に伸びる要因もあります。Jストリームでは魅力的な情報の伝え方を企業に提案し、こうしたニーズを発掘してまいります。

日本の広告費の推移



連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,645,094	3,040,312	流動負債	484,670	712,557
現金及び預金	683,225	717,772	買掛金	18,964	1,277
受取手形及び売掛金	742,948	633,545	短期借入金	—	6,127
たな卸資産	—	27,677	未払金	366,723	518,007
商品及び製品	3,560	—	リース債務	3,298	—
仕掛品	24,676	—	未払法人税等	14,486	125,514
預け金	1,050,000	1,450,000	未払消費税等	22,975	32,787
繰延税金資産	8,052	15,212	賞与引当金	7,181	4,760
その他	133,432	196,731	その他	51,040	24,083
貸倒引当金	△ 801	△ 626	固定負債	127,721	—
固定資産	1,361,710	1,103,682	リース債務	8,932	—
有形固定資産	198,929	216,890	負ののれん	118,789	—
建物	47,241	46,046	負債合計	612,392	712,557
機械装置	3,015	4,427	(純資産の部)		
器具備品	137,113	166,416	株主資本	3,369,251	3,363,964
リース資産	11,559	—	資本金	2,182,379	2,182,379
無形固定資産	538,594	438,690	資本剰余金	1,430,642	1,430,642
のれん	167,794	217,690	利益剰余金	△ 243,770	△ 249,057
ソフトウェア	354,277	203,763	少数株主持分	25,160	67,473
その他	16,522	17,236	純資産合計	3,394,412	3,431,437
投資その他の資産	624,187	448,101	負債純資産合計	4,006,805	4,143,995
投資有価証券	549,024	408,274			
その他	97,120	40,693			
貸倒引当金	△ 21,958	△ 866			
資産合計	4,006,805	4,143,995			

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	科 目	当 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	4,639,418	4,333,053	特別利益	17,150	3,807
売上原価	2,690,022	2,451,577	出資金売却益	—	3,105
売上総利益	1,949,395	1,881,475	貸倒引当金戻入益	1,339	702
販売費及び一般管理費	1,781,616	1,483,565	前期損益修正益	5,883	—
営業利益	167,779	397,909	解約金	8,741	—
営業外収益	45,562	24,376	その他	1,185	—
受取利息	16,882	20,942	特別損失	125,232	40,107
業務受託手数料	5,366	2,683	固定資産除却損	4,444	4,636
為替差益	4,796	—	投資有価証券売却損	—	392
負ののれん償却額	13,572	—	投資有価証券評価損	71,660	—
その他	4,944	751	減損損失	24,499	35,078
営業外費用	16,194	20,793	事務所移転費用	3,635	—
支払利息	199	—	貸倒引当金繰入額	20,992	—
為替差損	—	9,283	税金等調整前当期純利益	89,065	365,193
持分法投資損失	5,485	10,353	法人税、住民税及び事業税	92,958	180,171
組合分配損失	9,947	1,083	法人税等調整額	△ 1,431	△ 6,119
その他	561	73	少数株主損失	7,748	3,712
経常利益	197,146	401,492	当期純利益	5,287	194,854

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
平成20年3月31日 残高	2,182,379	1,430,642	△ 249,057	3,363,964	67,473	3,431,437
連結会計年度中の変動額						
当期純利益			5,287	5,287		5,287
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△ 42,312	△ 42,312
連結会計年度中の変動額合計			5,287	5,287	△ 42,312	△ 37,025
平成21年3月31日 残高	2,182,379	1,430,642	△ 243,770	3,369,251	25,160	3,394,412

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)		(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,253,703	2,754,436	流動負債	408,395	618,676
現金及び預金	431,274	529,184	買掛金	315	—
受取手形	8,343	16,711	リース債務	3,298	—
売掛金	583,279	555,713	未払金	339,132	445,476
仕掛品	14,821	25,512	未払費用	4,190	3,103
前払費用	94,232	73,304	未払法人税等	9,110	119,518
繰延税金資産	7,782	14,706	未払消費税等	11,829	27,850
預け金	1,050,000	1,450,000	前受金	18,491	5,206
未収入金	3,900	53,452	預り金	10,938	9,050
その他	60,320	36,112	賞与引当金	7,181	4,344
貸倒引当金	△ 252	△ 261	その他	3,907	4,127
固定資産	1,614,462	1,272,345	固定負債	8,932	—
有形固定資産	183,288	207,021	リース債務	8,932	—
建物	38,944	44,852	負債合計	417,328	618,676
機械装置	3,015	4,427	(純資産の部)		
器具備品	129,770	157,741	株主資本	3,450,838	3,408,106
リース資産	11,559	—	資本金	2,182,379	2,182,379
無形固定資産	296,258	221,818	資本剰余金	1,430,642	1,430,642
のれん	17	5,828	資本準備金	1,430,642	1,430,642
商標権	10,862	12,039	利益剰余金	△ 162,183	△ 204,915
ソフトウェア	280,181	198,753	純資産合計	3,450,838	3,408,106
電話加入権	5,196	5,196	負債純資産合計	3,868,166	4,026,782
投資その他の資産	1,134,915	843,506			
投資有価証券	366,644	226,484			
関係会社株式	686,552	551,521			
株主、役員又は従業員に対する長期貸付金	11,724	—			
関係会社長期貸付金	47,171	—			
長期前払費用	3,756	31,907			
繰延税金資産	12,883	4,291			
その他	6,580	30,168			
貸倒引当金	△ 399	△ 866			
資産合計	3,868,166	4,026,782			

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Non-Consolidated Financial Statements

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
売上高	3,970,517	4,070,526
売上原価	2,357,174	2,336,175
売上総利益	1,613,343	1,734,350
販売費及び一般管理費	1,442,217	1,367,774
営業利益	171,126	366,576
営業外収益	47,217	47,581
受取利息	15,666	20,868
為替差益	4,796	—
業務受託手数料	23,876	25,963
雑収入	2,072	750
その他	805	—
営業外費用	10,055	10,366
支払利息	107	—
為替差損	—	9,283
組合分配損失	9,947	1,083
経常利益	208,288	403,791
特別利益	17,019	3,420
投資有価証券売却益	10,260	—
出資金売却益	—	3,105
貸倒引当金戻入額	875	315
前期損益修正益	5,883	—
固定資産売却益	0	—
特別損失	98,378	40,079
固定資産除却損	2,217	4,608
投資有価証券評価損	71,660	—
投資有価証券売却損	—	392
減損損失	24,499	35,078
税引前当期純利益	126,930	367,132
法人税、住民税及び事業税	85,865	171,205
法人税等調整額	△ 1,667	△ 5,942
当期純利益	42,731	201,869

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

株主資本等変動計算書 当期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成20年3月31日 残高	2,182,379	1,430,642	1,430,642	△ 204,915	△ 204,915	3,408,106	3,408,106
事業年度中の変動額							
当期純利益				42,731	42,731	42,731	42,731
事業年度中の変動額合計				42,731	42,731	42,731	42,731
平成21年3月31日 残高	2,182,379	1,430,642	1,430,642	△ 162,183	△ 162,183	3,450,838	3,450,838

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況（平成21年3月31日）

- (1) 発行可能株式総数 550,000株
- (2) 発行済株式の総数 140,287株
- (3) 株主数 4,960名
- (4) 発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
トランス・コスモス株式会社	株 62,562	% 44.6
株式会社NTTPCコミュニケーションズ	20,652	14.7
KDDI株式会社	15,228	10.9
リアルネットワークス・インク	14,820	10.6

Stock Information

会社概要

（平成21年6月26日現在）

Company Data

社名 株式会社Jストリーム
 英文社名 J-Stream Inc.
 設立年月日 平成9年5月29日
 本社所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-25-18
 渋谷ガーデンフロント
 大阪営業所 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-2-6
 新ダイビル9F
 U R L http://www.stream.co.jp/
 主要株主 トランス・コスモス株式会社
 株式会社NTTPCコミュニケーションズ
 KDDI株式会社
 リアルネットワークス・インク（米国）
 事業内容 (1)インターネットを利用した画像データ・音声データの提供サービス
 (2)インターネットを利用した広告業
 (3)インターネットを利用した会員情報管理、商取引、決済処理に関する業務の受託
 (4)テレビ番組、音声・映像ソフト等のデジタルコンテンツ、出版物の企画・制作及び販売業
 (5)コンピュータに関するハードウェア・ソフトウェアの開発・販売
 (6)インターネットを利用した各種情報提供サービス
 (7)インターネットに関する技術指導・コンサルティング

取締役及び監査役

代表取締役会長兼社長	白石清
代表取締役副社長	石松俊雄
取締役	保住博史
取締役	早見泰弘
取締役	酒井博
常勤監査役	岩木六馬
監査役	諏訪原敦彦
監査役	川北栄一
監査役	山田能弘

子会社 株式会社BASIS PLANET（東京都渋谷区）
 株式会社CO3（東京都渋谷区）
 株式会社アップアローズ（東京都目黒区）
 株式会社エンターメディア（東京都目黒区）
 クロスコ株式会社（東京都港区）
 株式会社バンドワゴン（東京都渋谷区）

【株主の皆様へアンケート】について

株主の皆様がお持ちの当社に対するご意見、ご要望などを賜りたく、アンケートをつけさせていただきます。今後の経営に反映させていきたいと考えております。選択項目以外にも皆様のご意見を忌憚なくお寄せ下さい。

株主の皆様へアンケート

- 1) 当社の株式を購入されたのはいつ頃でしょうか
平成（ ）年
- 2) 当社の株式を購入された理由は何でしょうか（複数回答可）
1.安全性 2.企業の将来性 3.市場の将来性 4.収益性 5.独自性
6.事業内容 7.市場競争力 8.経営方針 9.証券会社の勧誘
10.その他（ ）
- 3) 当社に対して今後どのようなことを望まれますか（複数回答可）
1.積極的な事業拡大 2.安定的な経営 3.株主への利益還元 4.わかりやすい情報提供 5.その他の手法（ ）
- 4) 投資判断をされる際の情報収集手段は何ですか（複数回答可）
1.証券会社の担当者 2.当社ウェブサイト 3.各種インターネットポータル
4.オンライン証券などのウェブサイト 5.その他情報ウェブサイト 6.雑誌
7.書籍 8.新聞（一般）9.新聞（専門紙）10.その他（ ）
- 5) 当社の情報提供としてどのようなものを希望されますか（複数回答可）
1.投資家向け説明会 2.ウェブサイト充実 3.株主通信等の通信紙/誌
4.メールマガジン 5.IR広告 6.その他（ ）

その他ご意見・ご要望などございましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。